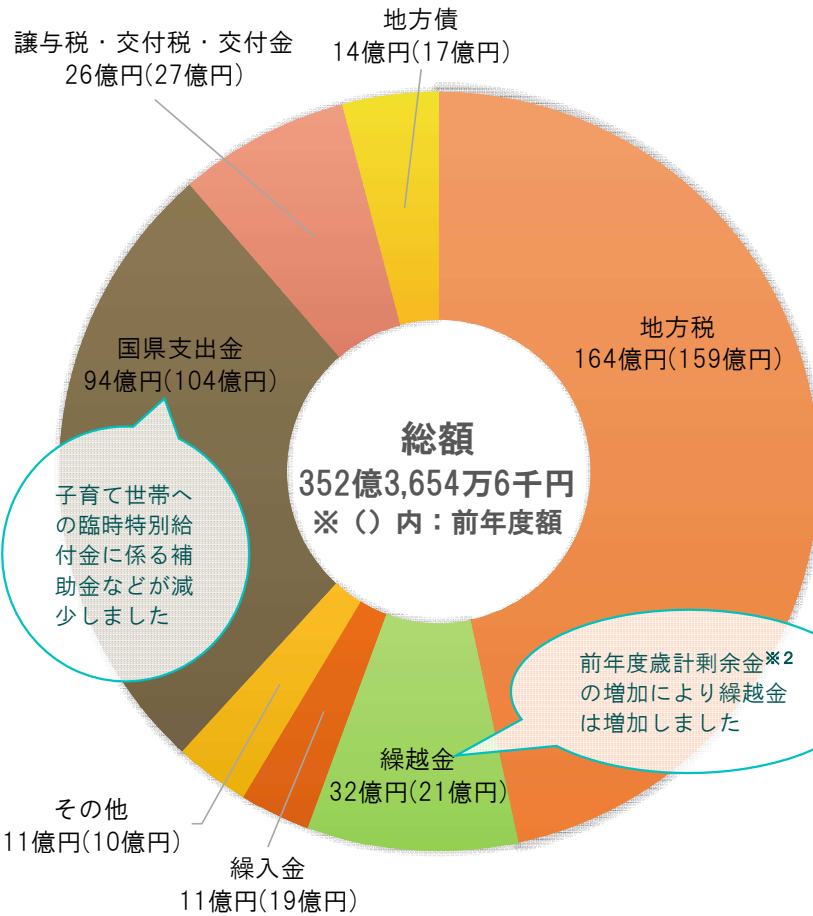


# 令和4年度 和光市のお財布

## 歳入

### ● 和光市にはどのようなお金が入ってくるのでしょうか？※1



#### 自主財源

- 地方税**  
市民の皆さんや市内の会社が納める税金など
- 繰越金**  
前年度から繰り越すお金
- 繰入金**  
基金（市の貯金）を取り崩したお金
- その他**  
市の施設を利用した際の使用料、証明書発行手数料や寄付金など、市が自主的に集められるお金

#### 依存財源

- 国県支出金**  
国や県からの補助金や負担金で、主に子ども子育てや福祉、建設事業のために交付されるお金
- 譲与税・交付税・交付金**  
国や県から配分されるお金
- 地方債**  
国や銀行などから借りるお金（借金）

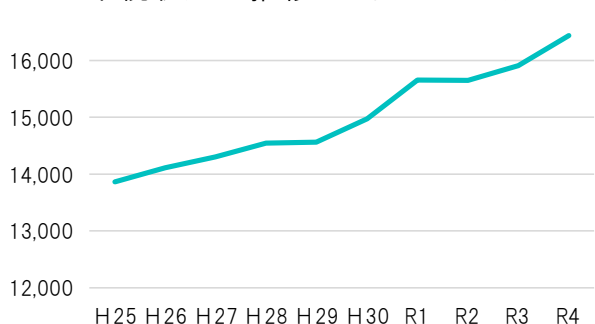
※1 「和光市のお財布」は普通会計（一般会計と駅北口特別会計が該当）で作成しています。各項目は億円未満を四捨五入しているため、合計と総額が一致しない場合があります。  
 ※2 歳計剰余金とは、その年の歳入額から歳出額を引いたものです。

### ● 地方税

地方税は市民税（個人・法人）、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税の総額で、歳入に占める割合は46.6%になります。

地方税の推移については、市民税や固定資産税において納税義務者数が増加していることから増加傾向にあり、令和4年度は固定資産税の課税標準額据置措置の終了などにより約5億円増加しました。

市税収入の推移 (単位：百万円)



### ● 地方債

地方債とは、いわゆる借金にあたります。

地方自治体は原則として借金をすることが禁じられていますが、建設事業に係る費用などについては、例外的に地方債を起すことが認められています。学校等の公共施設や道路等の都市基盤施設の受益を、後年度の方にも平等に負担していただくという世代間の公平性を保つ側面があります。

今後も土地区画整理事業等の都市基盤整備や公共施設等の老朽化に伴う更新などにより、発行額の増加が見込まれます。

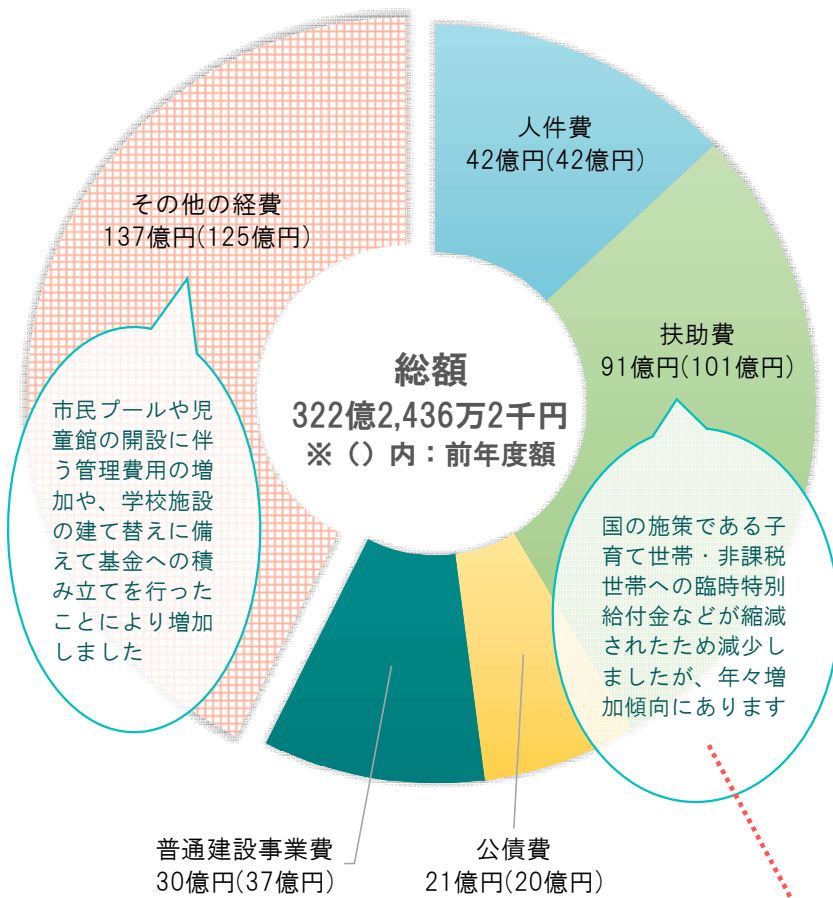
地方債発行額の推移 (単位：百万円)



# 令和4年度 和光市のお財布

## 歳出

### ● 和光市ではどのようにお金が使われているのでしょうか？



#### 主な経費

##### 人件費

職員や市議会議員等の給料など

##### 扶助費

保育園の運営委託料や障害福祉サービスなど

##### 公債費

国や銀行に借りたお金の返済、普通建設事業費、道路や公園、学校など、施設の整備に使われるお金 ※今後も、都市基盤整備や公共施設の老朽化対策などにより増加が見込まれます。

#### その他の経費

##### 物件費及び維持補修費

施設の管理に係る経費(光熱費、修繕費など)

##### 補助費等

市民団体や保育園への補助金など

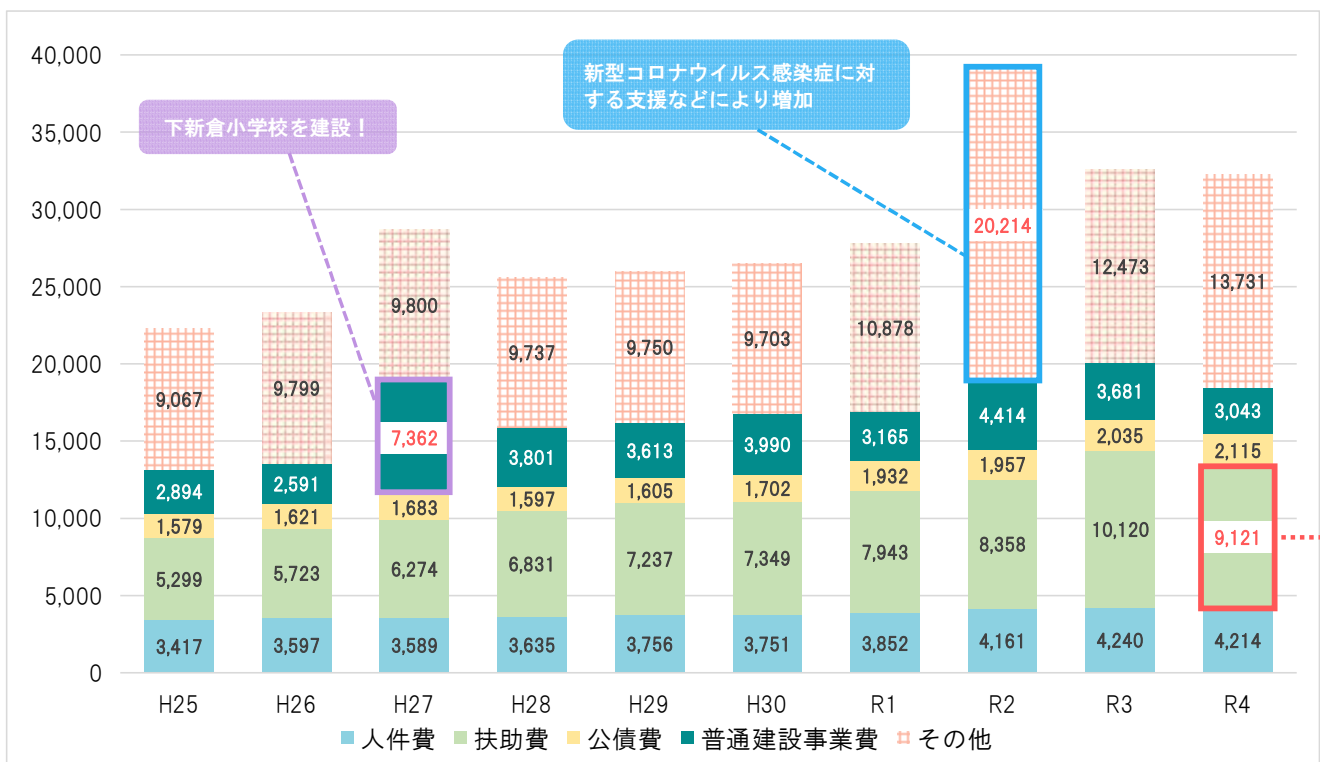
##### 積立金

市のために貯めるお金(貯金)

##### 繰出金

特定の事業を行う特別会計に対して、収入を補うためのお金

### ● 歳出総額の推移（普通会計決算・性質別）（単位：百万円）

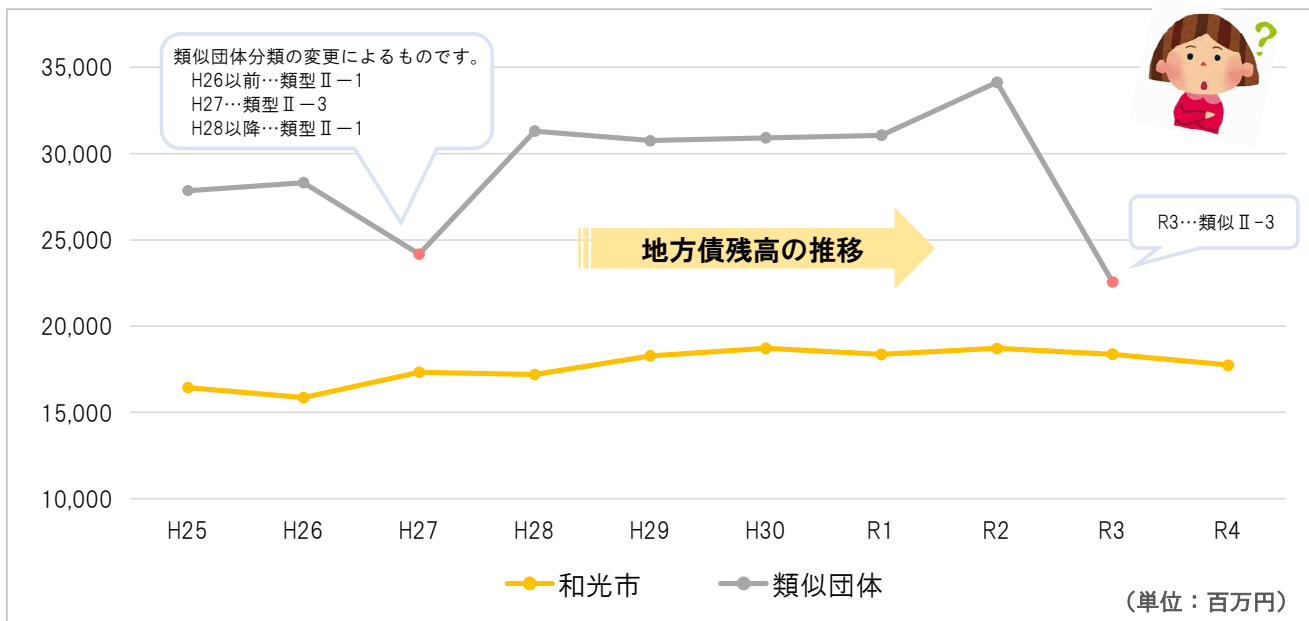


# 市の借金や貯金について

## ● 和光市の借金はどれくらいあるのでしょうか？

市の借金について、類似団体(※)と比べるといずれの年度も下回っていますが、今後も都市基盤整備や公共施設の老朽化対策などにより、借金は増加することが見込まれます。

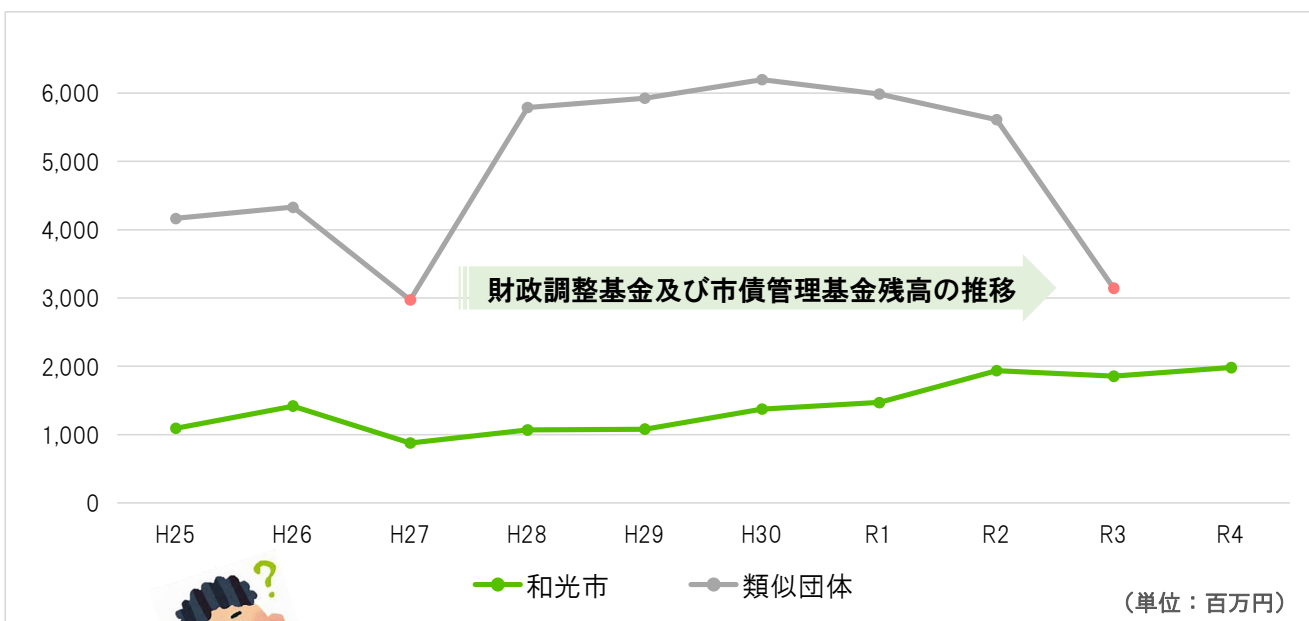
(※総務省自治財政局財務調査課が人口と産業構造の組み合わせによって自治体を類型化したものです。)



## ● 和光市の貯金はどれくらいあるのでしょうか？

財政調整基金は、財源が足りなくなったときに取り崩したり、財源に余剰が生じたときに積み立てることで財源の調整を行うための貯金で、市債管理基金は、借金の返済を計画的に行うために積み立てる貯金となります。この2つの合計額について、類似団体と比べるといずれの年度も下回っている状況にあります。

なお、財政調整基金以外にも、公共施設の整備や市内のまちづくりなど、特定の目的に使うために積み立てている特定目的基金もあります。



# 身近なサービスにかかった費用の一部を紹介します！



## 子育て

### 保育園

保育園は、保護者の方から頂く保育料と、国・県・市の支出により運営が行われています。

令和4年度末において、公立・私立保育園、認定こども園、小規模保育事業所等合わせて44園あります。同年度にしらか保育園を民設民営化して市の負担額を抑制するとともに、保育センターを開設して保育の質の向上に取り組んでいます。

市の負担額	13億5,238万2千円
市民一人当たり	16,107円 (前年度 16,075円)

### 乳幼児・子ども医療費

和光市では、子どもの保健の向上と福祉の増進を図るため、中学校終了までの通院及び入院にかかる医療費の一部を助成しています。

子育て中の家庭を支援し、子どもの健全な発達を支援することを目的としています。

市の負担額	3億945万4千円
市民一人当たり	3,686円 (前年度 3,511円)



## 交通

### 市内循環バスの運行

市内循環バスは、公共交通不便地区の解消とご高齢の方の生活の足を確保することを目的として運行しています。

令和4年度の年間乗車人員は146,910人となり、1日平均409人の方にご利用いただいています。

市の負担額	4,754万2千円
市民一人当たり	566円 (前年度 606円)



## 環境

### ごみ処理・リサイクルなど

市民の皆さまに分別いただいた資源などは、様々な工場で処理され、新たな製品を作るための材料となります。

ごみを燃やした後の灰はリサイクルされるものと、埋め立てられるものがあります。

和光市では、リサイクル量を増やし、最終処分場の埋め立て量の削減に努めています。

また、安定的かつ効率的なごみ広域処理体制の構築を目指し、朝霞和光資源循環組合への負担金を支払っています。

市の負担額	12億4,182万9千円
市民一人当たり	14,790円 (前年度 11,858円)



※「和光市のお財布」は、財政に興味を持っていただくために作成しました。  
より詳細な内容については、「財政白書」をぜひご覧ください！  
[http://www.city.wako.lg.jp/home/shisei/\\_13207/\\_10649.html](http://www.city.wako.lg.jp/home/shisei/_13207/_10649.html)